

(2023年1月1日から2023年12月31日まで)

特定非営利活動法人ランナーズサポート北海道

1、事業の成果

A)スポーツボランティアの普及・啓蒙

2013年に発刊したスポーツボランティア情報誌「北のスポボラ」を29号(3月)「カップ・ボトルを持ちレースを走る—ホノルル、湘南国際マラソン—」、30号(7月)「ボランティアの活動—しっかり記録—北海道マラソンの公式ホームページ—」、31号(12月)「社会とのつながりを学ぶ場—東京農大オホーツクの1年生—オホーツク網走マラソンの学生スタッフで毎年活躍—」を発行した。発行部数は各2,300部。

継続した取り組みで認知度が高まっている。

B)北海道マラソンの運営支援ほか

新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行により本格的に開催の北海道マラソンのため今年もマラソン教室を開催した。5月13日より開講し計6回シリーズで実施した。指導はランニングの科学研究とコーチングが専門の北海道教育大の杉山喜一教授、北海道医療大の山口明彦教授、井上恒志郎講師。5回目の30km走(7月16日)には150名が参加した。また北海道マラソン前日には教室の番外編として大通7丁目のEXPO特設ステージで直前ランニングセミナーを開催し好評を得た。大会終了後には教室参加者の要望で「エンジョイランニングスクール(ERS)」を9月から11月までに6回実施した。

C)北海道マラソンチャリティーエントリーの取り組み

今年度も北海道マラソン組織委員会の協力を得て北海道マラソン「チャリティーエントリー」を実施した。これは、5万円をNPOに寄付すると出場権を得るシステムであり、2013年に認定NPOの認証を受けたので、寄付者には税制優遇制度が適用されるのが国内他大会のチャリティーと異なる。今大会では15人のランナーとその賛同・応援の寄付で計90万5,000円が寄せられ、エントリー運営経費1割を除いた額をランナーの希望をもとに、道内の公益財団法人、NPO法人など8団体・事業の活動支援に計81万4,500円を贈った。

寄付先指定法人(復興支援 1団体 1事業)	(都市名)	(金額)
・公益財団法人そらぶちキッズキャンプ	滝川市	35万3,000円
障がい・福祉分野 (3団体)		
・NPO法人スペシャルオリンピックス日本・北海道	札幌市	7万5,000円
・NPO法人CAN	〃	〃
・NPO法人イナクル	〃	〃
自然・環境分野 (2団体)		
・NPO法人しまふくろう基金	鶴居村	6万7,500円
・NPO法人環境把握ネットワークPEG	〃	〃
スポーツ・文化・地域おこし分野 (2団体)		
・NPO法人農村と都市を結ぶ応援団	札幌市	6万7,500円
・NPO法人アスアスラボ	〃	〃

D) 北海道スノーマラソン

第9回北海道スノーマラソンは1月29日に快晴の下、10km324人、3km149人の参加者、44名のボランティアで実施された。コロナ禍の折、感染対策に重きを置きウェーブスタートを採用。消毒の徹底、ラン以外のマスク着用、表彰式の中止などの対策を講じた。

10月より2024大会の準備に入り10回の節目の記念大会として、皆勤ランナーへの記念品贈呈などのイベントも準備した。

E) 北海道ランニング大会ガイド

当法人が編集を担当していた北海道ランニング大会ガイド（北海道新聞社刊）が新型コロナウイルス感染症によるランニング大会の消滅で2020年版をもって廃刊した。その受け皿としてWEB版のランニング大会ガイドを製作しホームページで公開を継続した。事務局の長能潔氏を中心に取材、編集、製作にあたり、北海道マラソンをはじめ、道内のランニングイベント情報を発信した。